



高野口小学校コミュニティだより

2026年1月号

回覧



発行：高野口小学校学校運営協議会（高野口小学校内）
Tel: 4 2 - 2 0 6 1 E-mail: koyaguchi@hashimoto.ed.jp

師走の寒さが一段と厳しくなる中、子どもたちは学習や行事を通して大きな成長を遂げました。保護者の皆様、地域の皆様には、日々のご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本校は、年明け1月に創立150周年という大きな節目を迎え、それに伴う記念式典を2月13日（金）に開催いたします。長い歴史を支えてくださった地域の皆様、そして子どもたちの未来を共に育んでくださる保護者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。この記念すべき年を、子どもたちにとって誇りと希望に満ちたものにできるよう、150周年実行委員会の皆さんと教職員一同、力を合わせて準備を進めてまいります。

どうぞ良いお年をお迎えください。新しい年が、皆様にとって幸せと笑顔にあふれる一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

学校と地域との強い連携を目指すには

課題と今後の展望（共育コミュニティの会議で話し合われた内容です）

課題

- ・学校と地域のつながりが不足している。地域の方々に、学校との関わりの必要性をより理解していただく必要がある。また、どのように関わればよいのか分からない場合がある。
- ・町で子どもを見かける機会が減少し、子どもと地域とのコミュニケーションが取りづらくなっている。
- ・子どもに声をかけにくい時代であるため、顔見知りになることが重要である。
- ・昔ながらの学校と地域との良好な関係が希薄化している。
- ・子どもたちは家庭での会話が不足し、語彙力が低下している。保護者が忙しすぎるため、家庭での時間や子どもとの会話が減少している可能性がある。
- ・ゲームやスマートフォンによる情報過多により、一人遊びが増え、人とのつながりが希薄になっている。

今後の展望

- ・地域に根ざした学校づくりを進める。社会に開かれた教育課程を実現するため、地域の方々に学校へ積極的に関わっていただき、学校と地域のつながりを増やし、双方にとって有益な関係（Win-Win）を構築する。
- ・地域が寛容で、人のために労を惜しまない「利他の心」「奉仕の心」を大切にし、世のため人のための視点に立つ。特に高齢者の方の活躍の場を広げる。
- ・子どもの見守りに地域全体を巻き込み、協力体制を構築する。感謝の気持ちを示し、保護者の理解を得てPTA会費で費用を捻出し、地域から専門の見守りスタッフを雇用することも検討する。
- ・見守りは子どもだけでなく地域の高齢者にも広げ、地域全体で声を掛け合える環境を整える。子どもの帰宅時間に合わせて買い物をすることで見守りを兼ねる。商店の協力も期待したい。
- ・各学校に高野口の特徴を活かしたクラブ活動（例：織物クラブ）を設け地域との連携を図る。
- ・学校と地域とのつながりを目的化し、コミュニケーションを強化する。
- ・保護者が自分の子どもだけでなく、他の子どもにも少しずつ関わることで、地域連携の基盤を築く。
- ・地域の方や保護者が楽しめる連携を推進し、「遊びながら学ぶ」活動を取り入れる。